

周南市議会議会だより編集委員会記録

日 時 平成27年10月28日(水曜日) 午前10時23分開議
午前11時50分散会
(会議時間1時間27分)

休 憩 なし

場 所 第2会議室

出席委員 委員長 青木義雄議員 委員 友田秀明議員
委員 井本義朗議員 委員 長谷川和美議員
委員 田村隆嘉議員 委員 福田吏江子議員

欠席委員 副委員長 金子優子議員

事務局職員 書記 鶴岡舞子

会議に付した事件

- 1 議会だより(12月1日号)について
(1) 記事・レイアウトの確認
- 2 行政視察の成果等のまとめについて
- 3 今後の議会だよりについて
- 4 次回の委員会の開催について

議事の経過 別添のとおり

周南市議会委員会条例第65条の規定により、ここに署名する。

議会だより編集委員長 青木義雄

議会だより編集委員会 議事の経過

午前 10時23分開議

○委員長（青木義雄議員） ただいまから議会だより編集委員会を開きます。

金子委員から欠席届が提出されております。

本日の協議事項はお手元に配付のレジュメのとおりです。

議会だより（12月1日号）について【要点記録】

- ・例年の12ページから16ページへ変更したので、1校を見ながら掲載内容について確認した。
- ・表紙については、委員長案の榎浜支所・公民館を示し、最終校で案を示すことを確認した。
- ・2ページの定例会の概要と子育て支援施策に対する要望決議の背景が色弱者の方に見にくい色なので、変更することを確認した。
- ・3ページの子育て支援施策に対する要望決議と主な日程の掲載場所を変更することを確認した。
- ・一般質問については、これまでの掲載方法とし、その他の質問等は掲載しないことを確認した。
- ・10ページには委員会レポート（その2）、11ページに議案等の議決結果と8月17日全員協議会の概要、12ページに第4回臨時会の概要、13ページには総合戦略に関する決議、最終ページには行政視察について掲載することを確認した。
- ・市広報が10月1日号より、徳山大学、徳山高等専門学校等を含む12カ所の教育機関へ設置されることになり、議会だよりについても12月1日号から設置されることを報告した。

行政視察の成果等のまとめ

○委員長（青木義雄議員） 行政視察の成果等のまとめについてを議題とします。10月15日に廿日市市を行政視察しましたが、行政視察の成果のまとめとして、参加された委員の皆さんから一言ずつ感想、意見をお伺いいたします。

○委員（井本義朗議員） 感想の部分をちょっとはしょって、発表しますと、編集や入稿など全てを担当の議員がこなしているため、その業務の負担は大変なものがあるんだろうと推測いたしましたが、これは今現在の市の委員長など、ある程度公平な立場の者が記事を書いているという認識がありますが、そうしないと、内容が偏ったものにならないか、ちょっと不安があるなというふうに感じました。見せる工法として、いろいろ工夫をされておりますが、一つ聞いた新聞社など広報に関する技術を、第三者の有権者からアドバイスを求めているというのは、参考になるかなというふうに思いました。余白が大きくフォントもですね、つまっていないので見やすいと。これは最大の利点だろうと思いますが、一方で、ただ文字数が少なくなった分内容が薄くなっているのは否めない。まあ、ピックアップ記事にしても、結果が書いてあるだけで、審議の中身が、途中経過というのが全く見えなくて、これが見やすくして読んだからといって、議会とかそういったものに理解が深まるかなというような疑問が少しあります。議会がどういう働きをしているのか、ちょっとわかんないかなと思っております。特集というのも市民の関心を引きたいというのはわかるんですが、議会と何の関連性もないことを表紙もいれて3ページも割くのはやりすぎかなというふうに思いますので、表紙のみとかそういう形でなら、取り入れることもできるかなというふうに思います。こういったことで、現在の本市の詰め込み型の広報というのは、市民目線に立ってなくて一方的な情報発信は改善すべきであるということはいくつもわかりましたが、一方で、本来議会だよりは何のためにあるのかと、これは議会の審議内容とかその働きとか市政の動きをより広く正確に伝えることではないかなというふうに思いますので、見やすさと内容の充実

というのを同時にさせる、これ難しいこともありますが、バランスよく考えていくべきであるというふうに思いました。

○委員（友田秀明議員） 合併して10年で議会だよりの歴史は短いですが、充実した紙面ができあがっている。その間3度リニューアルに取り組んできたということですが、その要因として議員30人中10人、3分の1の議員が議会だよりを担当する広報広聴特別委員会にいて、また任期が2年間あり、十分な協議が同じメンバーでできること、あきる野市等先進市視察もして、いいものは丸写ししてでも採用するというプライドを捨てた取り組み姿勢、そして1番に感じたことは委員長の情熱とリーダーシップではないかと思いました。周南市でここまで取り組むには、任期、やる気そして先頭に立ってリニューアルしていこうという情熱を持った委員がいるのではないかと感じた次第であります。

○委員（田村隆嘉議員） 特集記事を載せることで、市民に親しみやすい内容となっているが、記事の企画検討、取材、編集等の手数がかることを考えると、採用すべきかどうかは十分な検討が必要であると思う。また、市民目線や読みやすさのために飾り文字、網掛けを使用しない点は参考になるが、イラストを使わないなどのコンテストで受賞するためのこだわりは必要ないと感じた。スペースをとった構成は読みやすいが、情報量が制限されることになる。議会から伝えたい内容を精査する必要があると思う。

○委員（長谷川和美議員） 編集歴10年とのことだが、あきる野市の視察で大変な転換のチャンスとされたとのことですが、委員全員の取り組みはとても熱心に研究されていて感心しました。議会での議決で賛否が分かれたものについては、広島県全体に各市等でほとんど取り組んでいる中で、廿日市市も取り組むべきと判断され、今年2015年8月号から掲載するようになったとの説明がありました。障害者の方への対策は市広報と同様文字と音声へ変換できる方法をホームページなどにも載せているとのこと、しっかり取り組まれていると思いました。全体的には、改正される前の内容のほうが、大変読みやすいというふうに感じました。

○委員（福田史江子議員） 議会だよりの役目というものについて考えさせられました。廿日市さんの議会だよりは導入編というか見やすさを重視してるので、もっと詳しく知りたい方にとっては物足りないですが、議会のホームページとか録画を視聴できたり、議会報告会も開催されているとのことでしたので、他から情報を得るツールがあるからこそ、導入編にとどめているというふうに思いました。幾つかツールがあるっていうことは、一つ例えば議会だよりをとっただけではわからない、もっと自分で市民の皆さんから積極的に他のツールを探していかないと情報が得られないというのも疑問に思いました。それと、議会として決まったことをお知らせするっていうものであって、各議員の議員活動のためではないとの認識のもと、改正に伴って一般質問のスペースを削ったとのことでしたので、果たして議会だよりとは何だろうかと思ひまして、周南市の皆さんにとって議会だよりでどのような情報があるとよいのかを聞きたいな、アンケートをとりたいたいなというふうに思いました。

○委員長（青木義雄議員） 最後に私のほうからですが、簡潔に述べますが、まず廿日市市のリニューアルはあきる野市を視察にして、それを全面的に使ってるということで、スピーディーな判断でもありますけども、やや安易な気はしました。まあ、議員主導でつくられてるということで、こうしたこともあるのかもしれませんが、リニューアルしていくには、方向性や考え方など、基本的なものをやはりきちんと一致して進めていくことが大切じゃないかというふうに思います。それから、アンケート等の実施はまだしていないということで、やはり市民の皆様からの反応や感じ方を把握していく必要はあるし、そういったものを今からやはりつかんでいくことは不可欠であるというふうに思います。

議長への報告については、皆さんから提出いただいた報告書に資料をつけて提出しますので、委員会終了後事務局へご提出ください。

今後の議会だよりについて【要点記録】

- ・リニューアルの方向は、ページ数を通年16ページとし、全体の見やすさや市民目線を大切にし、内容の充実を図ることを確認した。
- ・リニューアルのスケジュール案を示し、全面リニューアルの目標を平成28年5月15日号にすることを確認した。
- ・表紙と裏表紙をカラーにしてはとの意見が出たが、今後リニューアルの協議の中で話し合うことを確認した。
- ・次年度については全号16ページで発行することを、委員長・副委員長で議長に対し書面で要望することを確認。

次回の委員会の開催

○委員長（青木義雄議員） 次回の委員会は11月6日の金曜日の9時30分から開催しますので、よろしくお願
いします。

本日の協議事項は以上ですが、皆さんから何かありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（青木義雄議員） 以上で本日の委員会を散会します。お疲れさまでした。

午前11時50分散会
